

琵琶湖の総合保全について

1. 提案

琵琶湖総合開発終了後、関係省庁が実施された「琵琶湖の総合的な保全のための計画調査」や県が策定した「琵琶湖総合保全整備計画（マザーレイク 21 計画）」に基づき連携して琵琶湖の総合保全に取り組んできたが、まだまだ不十分であり、加えて新たな課題もみえてきているため、引き続き、国における調査、県が今年度改訂するマザーレイク 21 計画に基づき、各種対策に県と連携して取り組まれない。

琵琶湖の総合保全を一層進めるため、水質汚濁メカニズム解明調査や、琵琶湖深層部の低酸素化のメカニズムおよび水質や生態系に与える影響解明調査等に取り組むと同時に、調査結果に基づく効果的・効率的な対策の検討に県と連携して取り組まれない。

早崎内湖の再生をはじめとする水辺生態系の保全・再生に向けた取り組みに支援されたい。

琵琶湖南湖に大量繁茂している水草の効果的な対策について、各省庁が連携して県の取組みに対し積極的に支援するとともに、水草の南湖における生態系メカニズムの解明に向けて積極的に取組まれない。

都市再生プロジェクト「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」に位置づけられた「南湖の再生プロジェクト」を、関係機関の連携の下に強力に推進されたい。

下水道施設の耐震化、改築更新および高度処理のための維持管理に対する交付税措置の拡充など、財政支援の充実を図られたい。

2. 現状と課題

琵琶湖は、近畿圏の生活と経済を支えている貴重な水資源であり、その総合保全に向けた取り組みは、国と県の強い連携のもとに進める必要がある。

そのためにも、水質汚濁メカニズム解明などの調査や、その調査結果に基づく新たな保全対策の検討と推進が必要である。

生物の多様性に富み、自然環境・景観保全上特に重要な内湖や湿地・砂浜が減少しており、水辺生態系の保全・再生が求められている。

近年、琵琶湖で水草が大量に繁茂し、住民生活や漁業をはじめとする産業等に様々な悪影響が発生し、特に南湖は危機的な状況に瀕している。

琵琶湖の南湖は、豊かな生物を育む「ゆりかご」ともいふべき貴重な水域で、重点的な対策が必要である。

琵琶湖の総合保全のためには、琵琶湖・淀川流域圏をはじめとする国民の意識の高揚が必要である。

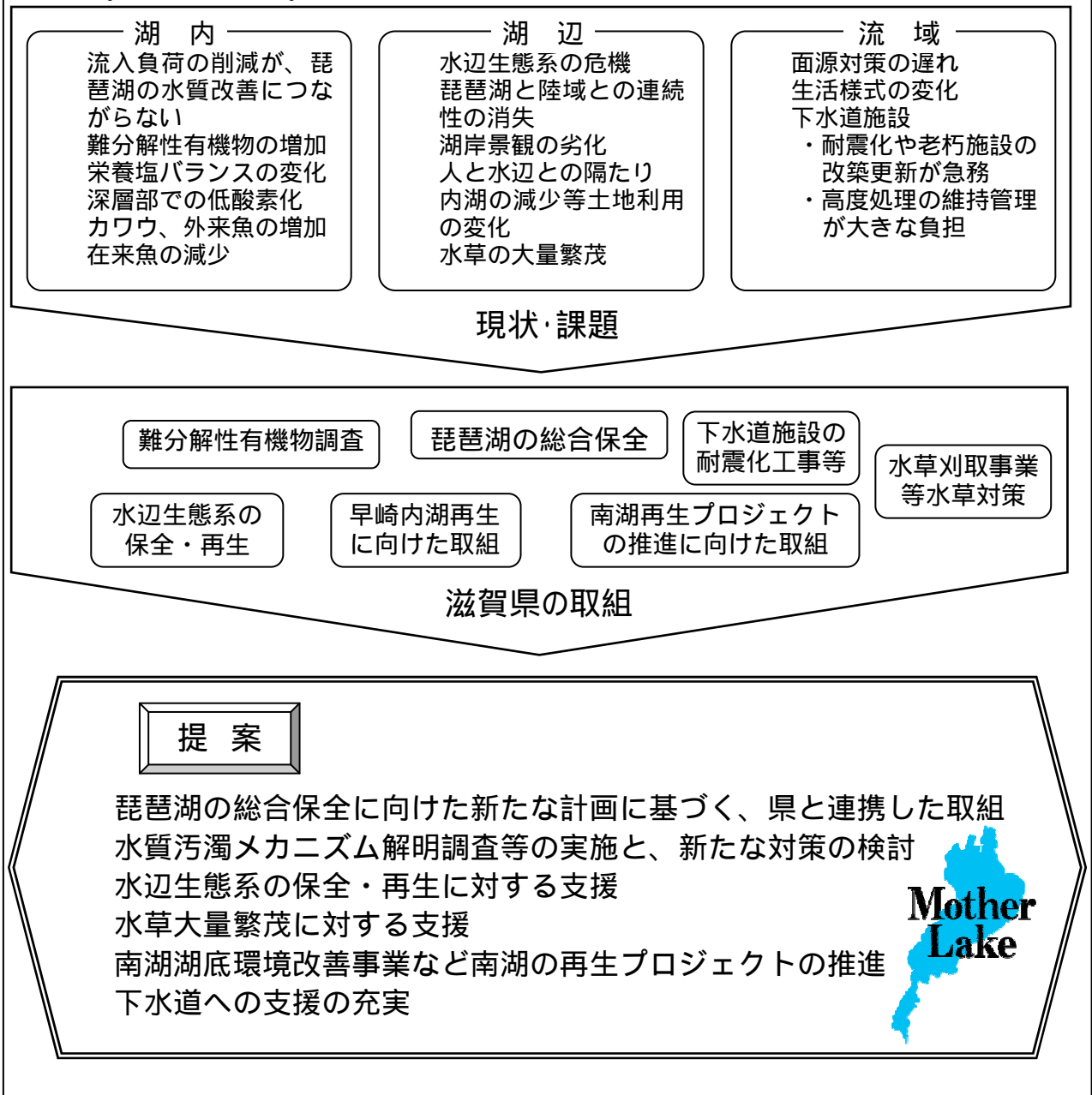
近畿の水源としての重要性から、琵琶湖流域下水道の耐震化や老朽化に伴う改築・更新を適切に実施する必要がある。

（環境省、国土交通省、農林水産省、総務省、厚生労働省）

3. 本県の取組状況

マザーレイク21計画に基づく琵琶湖の総合保全
関係省庁と連携した難分解性有機物に関する研究
エコトーンマスタープランに基づく水辺生態系の保全・再生の取組
早崎内湖再生に向けた取組と琵琶湖における内湖再生の全体ビジョンの検討
水草刈取事業、湖底環境改善事業、補助河川総合流域防災事業等水草大量繁茂への対応
南湖の再生プロジェクト推進のための取組
琵琶湖流域下水道災害対策基本構想に基づく下水道施設の耐震化工事

(提案の概要)



（本県における具体的な取組状況）

1. 琵琶湖の総合保全に向けた取組

平成11年度に策定した「マザーレイク21計画」に基づき、琵琶湖の総合保全に向けた取組を進めている。

平成22年度には「マザーレイク21計画」第2期に向け計画を改訂する。

平成18年度策定の「第5期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画」に流出水対策推進計画を盛り込み、流入汚濁負荷の一層の削減を目指している。

琵琶湖流域の水物質や挙動を把握し、施策の効果予測や評価が可能となる水物質循環モデルをはじめとする「琵琶湖流域統合管理モデル」の構築を進めている。

2. 水質汚濁メカニズム解明調査等の取組

難分解性有機物に関する研究を関係省庁と連携して取り組んでいる。

また、湖辺生態系の保全・再生・管理に関する研究、流入負荷・湖内水質の管理に関する研究を実施している。

琵琶湖の深層部の低酸素化に関する実態把握や生態系に与える影響について解析モニタリングを行っている。

3. 水辺生態系の保全再生

健全な水辺生態系の保全・再生のため、「水辺エコトーンマスタープラン」に基づき、ビオトープの拠点整備を図っている。

水辺生態系復元のモデルとなる早崎内湖再生に向け、早崎内湖再生計画(案)をもとに実施計画を策定するとともに、地域が主体となって環境学習や情報発信活動を展開する早崎内湖再生協議会に対して支援を行っている。

琵琶湖における内湖再生の全体ビジョンを検討している。

4. 南湖の水草大量繁茂

船舶の航行障害や悪臭の発生等、県民生活への影響対策として「水草刈取事業」を、漁場再生の促進と湖底環境の改善・維持・保全のために「湖底環境改善事業」および「ワカカ種苗生産放流事業」を、琵琶湖南湖における健全な生物生息空間の再生のために「補助河川総合流域防災事業(河川再生)」を実施している。

平成21年度から悪臭の発生等、県民生活への影響対策として「緊急雇用創出事業 水草・ハス人力刈取事業」を併せて実施している。

(本県における具体的な取組状況)

5 . 南湖の再生プロジェクト

都市再生プロジェクト「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」に位置付けられた「南湖の再生プロジェクト」の推進のため、「南湖再生ワーキンググループ」において、関係機関と連携しつつ具体的取組や協議・調整を進めている。

水産資源の培養や生態系の保全のため、ヨシ帯の造成や外来魚駆除、在来魚の放流などを行っている。

平成19年度から、覆砂や湖底耕耘などによりヨシ帯から沖合に連続して砂地を回復し、セタシジミ、ホンモロコなどの生物生息空間、豊かな漁場を再生する「南湖湖底環境改善事業」に着手している。

6 . 下水道施設の耐震化、改築更新および維持管理

平成14年度に「琵琶湖流域下水道災害対策基本構想」を策定し、重要度の高い施設から順次耐震化工事を行っている。

下水道施設の改築更新事業については、順次老朽化にかかる施設の診断調査を行い実施している。

当初より全処理場で高度処理を導入するとともに、処理レベルは全国的にも極めて高い状況にある。

母なる湖・琵琶湖。

——あずかっているのは、滋賀県です。